

ビ自首スルヲ常ナリト聞ケリ如此徒ニモ尙ホ減等セサル可ラサルモ  
ノナレハ自首ハ真心悔悟ト云フ可ラス只是立法者ハ司法政署上犯罪  
必罰ノ實ヲ擧ケ犯人搜索ノ費用ヲ省キ無辜ヲ罪スル憂ノ幾分ヲ減少  
スル等ノ利益ヲ以テ減等ノ理由トスルモノニ外ナラサラン

#### 第四款 酌量減輕

酌量減輕トハ重罪輕罪違警罪等ヲ分タス所犯情狀原諒スヘキ所アル  
場合ニ其事情ヲ酌量ノ本刑ニ一等又ハ二等ヲ減シテ罪ト刑トヲ對衡  
セシムル事ヲ云フ(第八十九條第九十條)故ニ酌量減輕ハ法律ニ於テ本  
刑ヲ加重シ又ハ減輕スヘキ時ニモ用ユルヲ得  
抑モ人生事情ノ錯雜ナル決メ一様ナルヲ得ス父母或ハ夫ノ藥價ニ供  
セン爲メ盜スル傾城瀬川ノ如キモアラン放蕩浪費ノ爲メ詐僞スル者

モアラン人ノ痛苦ヲ以テ樂シカ爲メ謀故殺ヲ行フ惡漢モアラン又一  
時或ル意味ノ正義的感想ニ制セラレテ謀故殺ヲ行フ大石良雄ノ如キ  
者モアラン故ニ假令同一罪名ノ下ニ纏メラル、犯罪ニテモ數種異様  
ノ情狀ヲ有スルモノナリ故ニ如何ニ緻密詳細ノ法律ナルモ此等ノ事  
狀ヲ網羅スルヲ得サルニ依リ立法者ハ罪ト刑トノ權衡ヲ得ンカ爲メ  
此規定ヲ爲シタルモノナリ  
酌量減輕ハ夫レ如斯シ故ニ判官ニ於テ之ヲ行フハ最モ慎マサル可ラ  
ス即チ酌量スベキ情狀アルニ酌量セサレハ其判決ヤ違法ナリ酌量ス  
ヘキ情狀ナキニ酌量スレハ枉法ナリ又酌量減輕ハ所犯情狀ニ關シテ  
フモノナレハ刑ノ重キカ爲メ行フ可ラス例ヘハ人ヲ毆打シ疾病休業  
廿日以下ナル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ナリ若シ廿日以上疾病  
休業ニ至ラシムルハ一年以上三年以下ノ重禁錮トナル故ニ其間一



日ノ多少ニ依テ大ナル差アルニ因リ後者ハ前ニ比シ刑ノ重キニ過ク  
ルカ如シ然レモ是立法者ノ規定シタル刑ナレハ其差違アルノ故ヲ以  
テ情狀原諒スヘキモノナキニ酌量スルヲ得サルナリ何トナレハ所犯  
情狀原諒云々トアリテ刑ノ輕重ニ及ハサルノミナラス若シ然リトセ  
ハ司法官カ法律ヲ左右スルニ至ルヘケレハナリ  
尙ホ一言スヘキハ原諒スヘキ情狀ハ犯罪ノ目的趣旨希望ノ善惡正邪  
ニアルモノニシテ犯行ノ直接意思ニ存スルモノニアラサルコト之レナリ  
即チ大石良雄カ謀故殺ヲ行フモ定九郎カ謀故殺ヲ行フモ夫ノ爲メ藥  
籠ヲ盜ムモ浪費ノ爲メ竊盜スルモ實行ノ意思ハ同一ナレモ其異ナル  
ハ目的趣旨希望ニアリ讀者深ク此點ニ注意セラレシコトヲ望ム  
以上論スル如ク酌量減輕モ決メ判官ノ擅斷スルヲ得サルモノナリ然  
ルニ世上ノ論者酌量減輕ヲ以テ裁判所ノ自由勝手ナルモノ、如クお

梅ノ如キ美人ニハ原諒スヘキ情狀ナクモ酌量減輕スルヲ得ルモノ、  
如ク田舎爺ハ愍諒スヘキ情アルモ減輕セサルモ可ナルモノ、如ク酌  
量減輕ハ裁判官ノ蟲次第ト解釋シ其極大審院ハ酌量減輕ノ有無ヲ以  
テ前判決ヲ破毀スルヲ得スナト、云フニ至リタルハ最モ驚キ入りタ  
ル議論ト信スルナリ大審院ハ事實ニ立入ラサルヲ以テ判決文面ニ酌  
量スヘキ事情掲ケアラサル片ハ立入ラサルヘキモ酌量スヘキ事情掲  
ケナカラ減輕セサルナラハ是取モ直サス擬律ノ錯誤ト云ハサル可ラ  
ス故ニ遠慮會釋ナク破毀セサル可ラサルヘシ

### 第五款 加減例

加減例ニ於テ第一注意セサル可ラサルハ違警罪ノ刑ニ加等ノ輕罪ニ  
入レ輕罪ヲ加等ノ重罪ニ入レ重罪ノ体刑ヲ加等ノ死刑ニ入ル、其許



サ、ルコト是ナリ第六十六條第七十條第七十二條故ニ此點ヨリ觀察スレハ刑制上侵ス可ラサル四段ノ區別アリト云ハサル可ラス併シ此墻壞的境界ハ加等ノ重キニ入ル、ヲ得サルノ制限ニ減等ノ輕キニ下スハ素ヨリ差支ナキモノトス又重罪刑ハ罪ノ種類ニ依リ加減ノ例ヲ異ニセリ即チ常事犯ノ刑ハ左ノ如シ(第六十七條)

一死刑 二無期徒刑 三有期徒刑 四重懲役 五輕懲役  
國事ニ關スル重罪ノ刑ハ左ノ如シ(第六十八條)

一死刑 二無期徒刑 三有期徒刑 四重懲役 五輕懲役  
此重罪刑ノ最低刑ナル輕懲役輕禁獄ヨリ減等スレハ是非輕罪刑トナルニ依リ禁錮トセサル可カラサルニ至ルモ禁錮ハ素十一日以上五年以下ノ範圍ナルヲ以テ懲役禁獄ヨリ一等ヲ減シ十一日以上ノ禁錮トスレハ甚タ輕微ニ失スルニ依リ我刑法ハ輕懲役ニ該ル者減輕スヘキ

時二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處スルヲ以テ二等ト爲シ輕禁獄ニ該ル者減輕スヘキ時ハ二年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルヲ以テ一等トセラレタリ(第六十九條)

輕罪ノ刑ハ禁錮罰金ニシテ其範圍金額ハ各本條ニ特記スル所ナリ而シテ此加減法ハ各本條ニ記載シアル刑期金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以テ一等トスルモノナリ(第七十條)故ニ禁錮ヲ加減スルニハ其最長期及ヒ最短期ノ四分一ヲ加減シ其範圍ヲ定メ罰金ハ其最低額及ヒ最高額ノ四分一ヲ加減シ其範圍ヲ定メサル可ラス然レモ輕罪ノ刑ハ加ヘテ重罪刑ニ入ルヲ得サルコトハ前説明ノ如クナレハ禁錮ヲ加重シ懲役禁獄トスルヲ得サルモ加ヘテ七年トスルヲ得ルヲ以テ禁錮ノ長期ハ七年ノモノナリトス

又我刑法ハ各本條ニ記載シタル刑期金額ノ四分ノ一ヲ加減スルヲ以



テ一等ト爲ストアルニ因リ其加減ハ疑モナク單加單減法ニシテ遞加遞減法ニ非サルヲ知ルヘシ即チ單加單減トハ各本條ニ記載セラレアル刑ノ四分一ヲ標準トシテ加減ノ等數ニ應シテ加減スルモノナレハ四等ヲ減シテ減盡シ四等ヲ加ヘテ二倍トナルモノナリ又遞加遞減トハ加減ノ等數毎ニ現在刑四分ノ其一分宛加減スルモノナリ此加減法ノ得失ニ付キ學者間議論ナキニ非スト雖モ立法論ナルヲ以テ茲ニ贅セス右ノ如ク四等ヲ減スレハ零數ニ達シ刑ナキノ極ニ至ルニ因リ當然免刑セラルヘキモノナルカ如シト雖モ我刑法ハ此場合ニ禁錮ハ勾留トシ罰金ハ科料トスヘキモノト定メタリ若シ又減盡セサルモ其低額短期十日以下一圓九十五錢以下ニ及フトキハ勾留科料トスルヲ得ルモノトセリ(第七十一條)

違警罪ノ刑ナル勾留科料ヲ加減スルハ禁錮罰金ノ如ク各本條記載ノ

刑ノ四分一ヲ加減スルヲ以テ一等トセリ違警罪ノ刑ハ加ヘテ輕罪ニ入ルヲ得サルハ前説明ノ如クナレモ勾留ハ加ヘテ十二日ニ至ルヲ得減シテ一日以下ニ降スヲ得スコ料ハ加ヘテ二圓四十錢ニ至ルヲ得減シテ五錢以下トスルヲ得サルモノトセリ(第七十二條)又付加ノ罰金ハ主刑ニ從テ加減シ其金額ノ四分一ヲ加減スルヲ以テ一等ト爲ス若シ減盡シタル時ハ止タ主刑ヲ科ス(第七十四條)禁錮勾留ヲ加減スルニ因テ其期限ニ零數ヲ生シ一日ニ滿タサルハ之ヲ除棄ス(第七十三條)

又一個ノ犯罪ニシテ種々ノ情狀ヲ具備スルニ因リ同時ニ加等減等ヲ行ハサル可ラサル場合ニ於テハ先ツ罪種確定ニ關スル加重減輕ヲ行ヒ然ル後只單ニ刑ノ斟酌ニ關スル加重減輕ヲ行フヘキモノト定メタリ即チ刑法第九十九條ヲ見ルニ犯罪ノ情狀ニ因リ總則ニ照シ同時ニ本



刑ヲ加重減輕スヘキ時ハ左ノ順序ニ從テ其刑名ヲ定ム但從犯及ヒ未遂犯罪ノ減輕其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ其加重シタルモノヲ以テ本刑ト爲ス

一再犯加重 二宥恕減輕 三自首減輕 四酌量減輕

是故ニ先ツ第一段ニ於テハ刑法第二編以下各本條ニ特載シアル加重減輕ト總則中ニ記載シアル從犯未遂犯ノ減輕ヲ行ヒ其行タル結果ヲ本則ト定ム而シテ此本刑ハ之レ重輕違背ノ罪種ヲ定ムル標準ナリトス此論斷ニ付キ反對ノ意見ヲ有スル人モアラン然レモ我刑法ハ被害權利ノ種類ニ基キ重輕違背ノ區別立タルニ非ス刑罰ノ點ヨリ區別ヲ定メタルノミナラス從犯未遂犯ノ減輕其他各本條ノ加重ハ其基ヲ社會被害ノ大小ニ酌ムモノニシテ一般ノ減輕ノ如ク犯人ノ身分ニ關スルニ非ルナリ故ニ未遂犯ト已遂犯トハ其結果大ナル區別アレモ幼者ノ

殺人モ丁年者ノ殺人モ害果同ナルヘク犯罪ノ後自首スルモセサルモ罪惡ニ大差ナカルヘシ我立法者ハ茲ニ見ル所在テ從犯未遂犯ハ各本條ノ加重ト同例ニ置キ其結果ヲ本刑ト定メタル者ナルヘキナリ」  
「儲テ第二段ニ右本刑ヲ四分ノ再犯宥恕自首酌量ノ順ヲ逐フテ加重スル」  
「明文ノ如シ斯ノ如ク第二段ノ加重ニ就キテハ法文ヲ以テ其順序ヲ定メアルヲ以テ格別喋々ノ論辯ヲ試ムル者ナシト雖モ第一段ノ加重ニ就テハ種々議論ノアル所ナリ其故ハ重罪ノ刑ハ加重ヘテ死刑ニ入ルヲ得ス輕罪ノ刑ハ加重ヘテ重罪ノ刑ニ入ルヲ得サルノ規定アルカ故ニ該法文ノ解釋ニ依テ被告ノ利益ハ不利益ナル場合生スレハナリ例ヘハ茲ニ無期徒刑ニ該ル被告人アリテ其罪情ニ依リ加重共ニ行ハサル可ラストセンカ加重ヲ前ニ減等ヲ後ニスルモノトセバ減等セラレハノミニノ加重セラレサルノ結果トナルヘシ何トナレハ加重ヘテ死



刑ニ入ル、ヲ得サルヲ以テ加重ハ無効ニ飯シ減等ハ有効ナルヲ以テ  
 有期刑トナルヘケレハナリ反之減等ヲ前ニシ加重ヲ後ニストセンカ  
 結局加重ナキト一般ナルヘシ何トナレハ減ノ有期刑トナシ加ヘテ無  
 期刑トスルノ結果トナレハナリ故ニ無期刑犯者ニハ加ヲ前ニシ減ヲ  
 後ニスル方大ナル利益ノ結果ヲ得ルニ至ル反之重罪ノ最低刑ナル輕  
 懲役輕禁獄ニ該ル犯人ニハ減ヲ前ニシ加ヲ後ニスレハ利益ナルモ加  
 ヲ前ニシ減ヲ後ニスレハ不利益ナル結果ヲ得ヘシ何トナレハ一等ヲ  
 減スレハ禁錮トナリ輕罪刑トナルヲ以テ加ヲ行ヘ得サルニ依リ結局  
 減ノミアリテ加ナキト一般ナレハナリ反之加ヲ前ニシ減ヲ後ニスレ  
 ハ加ヘテ重懲役重禁獄トシ減ノ輕懲役輕禁獄トナルヲ以テ結局加重  
 ナキト一般ナレハナリ

如斯加重ノ前後ニ依テ大ニ得失スル所アルヲ以テ當今我法學社會ニ

喧シキ議論ヲ惹キ起スニ至リ其局ニ乙派ニ分レタリ甲派ハ性質論派ニ  
 シ乙派ハ相殺論派ナリ

性質論者ノ説ニ曰ク加重ノ前後ハ一般ニ定ムヘカラスノ加重減等其  
 モ、性質ニ因テ定メサル可ラス若シ加重其者カ罪果ノ實體ト關係  
 ノ近キモノナルハ其遠キモノヨリ前ニセサル可ラス故ニ加重スヘ  
 キノ理由カ減等スヘキ理由ヨリ罪果ニ接近シタルモノナレハ第一ニ  
 加重ヲ前ニスヘク反之スルハ減等ヲ前ニスヘキナリ其結果トシ第  
 二ノ加或ハ減ノ行ハレサルコアルヘシト雖法律ノ結果止ムヲ得サル  
 ノコナリト

此議論非ナリ何トナレハ我刑法ハ從犯及ヒ未遂犯ノ減等其他各本條  
 ニ記載スル特別ノ加重減輕ハ云々ト同一例ニ規定セラレアリテ其間  
 輕重ヲ示サス又其性質ニ基クヘキノ意味聊カモ示サ、ルノミナラス



加減ニ罪果ニ關係スル所輕重ナキモソアレハナリ然ルニ其一ヲ行ヒ  
 其一ヲ行ハストハ頗ル法律ニ反スルモノナレハナリ  
 相殺論者ノ説ニ曰ク法律ハ加減ノ結果トシテ重罪ハ死刑ニ入ルヲ許サ  
 ス輕罪ハ重罪刑ニ入ルヲ許サ、ルモノニシテ加減ノ手段上想像的加へ  
 テ重キニ入ルヲ許サ、ルモノニ非ス故ニ想像上加へテ重ニ置キ減  
 原位ニ復スルハ差支ナシ故ニ加減共ニ存スルハ相殺スヘシト  
 此論非ナリ何トナレハ相殺ハ加減ノ打消ナリ加へタルニモアラス減  
 シタルニモアラサルナリ斯ノ如キ方法ハ民事取引ノ便利手段トシテ用  
 ヲルハ至當ナレモ刑ノ差引勘定ニ許ス可ラス何トナレハ刑法ハ明カ  
 ニ加フヘキヲ命シ又減スヘキヲ命シタルナリ然ルニ加減ヲ行ハ  
 サルハ不當ニ非スヤ復言セハ實刑ニ立入スノ門前ニ在テ打消スルハ  
 違法ノ所爲ナレハナリ斯ク論スルハ論者或ハ云ハン相殺ハ門前ノ

打消ニアラス想像上加へ想像上減シタルナリト這ハ尤モ奇怪ノ説ト  
 云ハサル可ラス加へテ重キニ進ムハ法ノ禁スル所ナリ此法禁ヲ破テ  
 加へタルハ違法ニ非スヤ若シ此所爲ヲ適當ト云フナラハ何カ故ニ加  
 等ノミ存スル時ニ加へサルヤ然ルニ論者ハ加減共ニ存スル時ハ加へ  
 テ重キニ進ムヲ許シ加ノミ存スル時ハ加へストセハ前後矛盾セル議  
 論ト云ハサル可ラサルナリ

予ヲ以テ見レハ法律ハ何レヲ前何レヲ後ト性質上ノ區別ヲ定メタル  
 ニ非ス一般同例ニ規シアレハ性質論者ノ如ク加減其レ身体ノ性質ニ  
 因テ定ム可ラス又相殺論者ノ如ク加減セスノ打消ヲ爲ス如キモノニ  
 モアラス法律ハ加へヨ減セヨ重キニ入ル可ラストノ命令ヲ與へタル  
 モノナレハ司直官ハ此三法件ニ反セサル様ニ法力ヲ運用セサル可ラ  
 スト信スルナリ故ニ加減共ニアリテ何レヲ前ニスルモ差支ナキ片ハ



何レヲ前ニスルモ可ナリ又加テ前ニスルヲ得サルハ先ツ減ヲ行ヒ後ニ加フヘク反之減ヲ前ニ行ヘハ加テ行ヒ難キ時ハ加テ前ニ減ヲ後ニスヘシ斯ノ如ク論スルハ論者必ス云ハン著者ノ論スル所モ結局加ト減ヲ行フ者ナレハ相殺ト同一ニ非スヤト予ハ答テ云ハン其性質大ニ異ナレリ予ノ論スル所ハ加等シ又減等スルモノナリ相殺ハ加減ノ打消ナリ加之ノミナラス之ヲ實例ニ適用スルモ大ニ異ナル結果ヲ生スヘキナリ例ヘハ死刑ニ該ル者ニ加減共ニ減スルトセハ此場合ニ相殺論ヲ以テスレハ加減共ニ相殺スルカ故ニ同ク死刑ナリ然ルニ著者ノ論ヲ以テセハ實際加減セントスルモノナルヲ以テ無期徒刑トナルヘキナリ何トナレハ死刑ニ加等スルヲ得サルハ勿論ナレハ加テ前ニ行フヲ得サルヘシ故ニ先ツ減ヲ行ヒ無期徒刑トセサル可ラス既ニ無期徒刑トスレハ無期徒刑ハ加ヘテ死刑ニ入ル、ヲ得サルモノナルカ故ニ

加テ行フ能ハサルヘシ故ニ結局無期徒刑トナル此場合ニ減ノミヲ行フテ加テ行ハサルハ法ノ禁スル所止ムヲ得サルノミ其加テ行フヲ得サルヲ以テ減ヲモ行ハサルノ理由ナシ故ニ加減共ニ行ヒ得ルハ其順序ノ如何ニ關セス之ヲ行フヘク其一ノミ行ヒ得ルモ他ノ一ヲ行ヒ難キ時ハ行ヒ得ル一ヲ行フヘシ是法意ニ適フモノト云ハサル可ラス第一段ノ加減即チ從犯及ヒ未遂犯ノ減等其他各本條ニ記載スル特別ノ加重減輕ノ方法ハ以上論スル如シ然レモ右ノ結果ヲ本刑トシ行フ所ノ第二段ノ加重減輕ハ之レト反セリ何トナレハ法律カ其順序ヲ明定シタレハナリ故ニ先ツ第一ニ再犯ノ故ヲ以テ加フヘシ若シ加ヘ得サルハ止ムノ外ナシ第二ニ宥恕減輕ヲ行ヒ第三ニ自首減輕ヲ行ヒ第四ニ酌量減輕ヲ行ハサル可ラス而シテ此順序ハ法律ノ定ムル所ナレハ決メ前後スヘカラサルナリ



## 第四章 刑ノ消滅

### 第一款 總論

刑ハ犯法事實ニ對スル惡報ナリ故ニ一般ニ論スルルハ公訴ノ期滿免除裁判確定前ニ於ケル犯人ノ死去親告罪ノ願下等裁判確定以前ノ事故モ刑ノ消滅セシムヘキ原因タルニ相違ナキモ區別的觀念ヲ以テ論スルルハ前數者ハ公訴權或ハ裁判自体ノ消滅ニ其刑ノ消滅スルハ間接ノ結果ニ外ナラス故ニ正當ニ刑ノ消滅ト爲スヘキモノハ裁判確定ノ刑ノ執行スルヲ得ヘキ時ヨリ以後ノ事故ナラサル可ラス故ニ刑ノ消滅トノ論スヘキモノハ

第二刑ノ執行濟 第二犯人ノ死去 第三刑ノ期滿免除 第四大赦  
第五特赦 第六復權

ノ六種ニ外ナラス然レモ刑ノ執行濟ハ別段論スル迄モナク執行終リタルルハ刑ノ消滅スルハ自然ノ道理ニ何人モ疑ヲ挾ム者ナカルヘク彼ノ再犯加重ノ如キハ前犯ヲ罰スルニアラスノ再犯ヲ罰スルノミ故ニ予ハ刑ノ執行濟ノ下ハ進ンテ説明ノ勞ヲ採ラサルヘシ

### 第二款 犯人ノ死去

判決確定シ刑ノ執行スルヲ得ル場合或ハ其幾分ヲ執行シタル場合ニテモ犯人ノ死去スルルハ茲ニ刑ノ消滅セザル可ラス何トナレハ刑ヲ担ヒ居ル主任者ノ消滅シタル以上ハ刑モ自然消滅セザル可ラサレハナリ

今若シ或一汎ノ宗教說ノ如ク人類ノ死ハ身体靈魂ノ分離ニ止マリ靈魂ハ永ク宇宙間ニ存在スト定ムレハ自由刑生命刑ハ行ヒ難キモ名譽



刑ハ行ヒ得ルカ如シト雖モ現界ノ法律ハ幽界ニ及ホスヘキモノニア  
ラサルヘク若シ及ホサントセハ管轄外ノ處分ナルヘシ  
又或ル法律家ハ罰金科料ノ如キ財産刑ハ裁判確定ヲ以テ國家ヲ債權  
者トシ被告ヲ債務者トスルモノナレハ相續人ニ對シ執行スルヲ得ヘ  
シト論スル如シト雖モ財産刑ニテモノノ刑ナル以上ハ其徵収セラル  
、苦痛ヲ以テ刑ノ執行トセサル可ラス左レハ假令相續人ナリトテ無  
罪ノ人ニ對シ刑ヲ執行スルハ不可ナルヘシ況ンヤ其不納完ヲ以テ禁  
錮ニ換フル規定アルニ於テヤ沒收モノノ刑ナルヲ明ナレハ是又死  
後ニ行フ可ラス併シ其禁制物自体ヨリ來ル沒收ナレハ相續人モ亦所  
有スルヲ得サルヘキニ依リ沒收セサルヘカラサルヘシ

### 第三款 期滿免除

刑ノ執行ヲ受クヘキ者或ル一定ノ時間其執行ヲ遁レ居ル時ハ執行セ  
ラルヘキ義務ヲ免ル(第五十八條之ヲ刑ノ期滿免除ト云フ何カ故ニ免  
除スヘキカ此問題ニ付キ世上論者說ヲ爲ス者多シ  
或論者曰ク幾多ノ歲月ヲ重子タル後年ニ及ヘハ世上ハ犯罪事件ヲ遺  
念シ遂ニ之ヲ罰スルノ必要ナク之ヲ罰スルハ却テ公益ニ反スルカ爲  
メナリト

此論非也何トナレハ公ノ法廷ニ於テ確定シタル事迹ハ決メ消滅スヘ  
キモノニアラス好シ一私人カ遺念スルトスルモ社會國家ナル公人ハ  
遺念スヘキ謂ハレナシ又歲月ノ經過ニ依リ罰スルノ必要ナシト論ス  
レモ其種ノ所爲方罰スルノ必要ナシトモ其法律ヲ廢スルニ至リタル  
ナラハ格別其法律ノ存スル以上ハ之ヲ罰スルノ必要ナシト云フハ穩  
當ナラサルカ如シ



又或學者ハ曰ク犯者ハ逮捕ヲ免レ居ル多年常ニ其縛ニ就テ恐レアルノミナラス前非悔悟ノ情ノ爲メ心中憂悶痛苦ヲ感スルモノナルヲ以テ社會ハ之レニ刑ヲ科スルノ必要ナキニ因ルモノナリト  
此論非也何トナレハ刑ハ社會ノ科スル苦痛ナレハ犯人自發ノ苦痛ヲ以テ之レニ換フルヲ得サルヘシ若シ如何ナル痛苦ニテモ刑罰ニ代フルヲ得ヘキモノトナサハ犯罪ノ後彼ノ流行病ナル「インフルエンザ」ニ罹リタル者ニハ刑ヲ科スルヲ得サルニ至ラン況ンヤ犯人心ノ痛苦ハ不確定タルモノニ於テヤ

又或論者ハ曰ク歲月ノ經過ハ確實ナル證據モ散亂湮滅ニ皈スルモノナレハ強テ刑ヲ行ハントスルモ確證ヲ得ル能ハサルニ因ルト  
此論非也何トナレハ證據湮滅論ハ公訴期滿免除ノ理由トスルハ適當ナリト雖モ既ニ確定判決ヲ經タル公書類トシテ存スル刑ノ消滅期限ノ

理由ニ適用スルヲ得サルヘシ

社會遺念ニ基ク刑罰不必要論犯人ノ心中苦悶證據湮滅論共ニ非ナルト以上論スル如シ然ラハ如何ナルモノカ是真ノ理由ナルヘキヤ予ヲ以テ見ルルハ社會刑罰權ノ尊嚴ヲ維持セントスルノ趣旨ニ基クモノト信スルナリ夫レ公廷ノ判決一旦確定ノ刑ノ執行スルヲ得ル場合ニ立至レハ一日モ速カニ就刑セシメテ犯罪必罰ノ實効ヲ擧ケ以テ天下ヲ警戒セサル可ラサルハ國家ノ義務ナリ然ルニ一犯人ノ爲メニ此刑罰權ヲ妨ケラレ爲サントシテ爲ス能ハザルノ位置ニ置カルハ社會ノ不面目トセサル可ラス既ニ如此刑罰權ノ實効ヲ妨ケラルトシ幾歲月ヲ經タル後ナルニモ不拘其刑ヲ實行スルトスレハ社會勢力ノ微弱ナルトナリ自白スルト一般ナリ故ニ社會ハ止ムヲ得ス或ル歲月ヲ經タル後ハ刑ヲ科セスト濟シ込ミ以テ刑罰權ノ尊嚴ヲ維持スルノ策ヲ



盡シタルモノナリ

如此刑ノ期滿免除ハ刑罰權ノ尊嚴ヲ保シカ爲メ設ルモノナリト雖モ  
畜ニ社會ノ体裁ノミヲ飾ルヲ努メ重大ノ犯人ニ法網ヲ免レシムルモ  
亦妙ナラサルヘシ故ニ其刑ノ輕重ニ依リ免除期限ノ長短ヲ定メザル  
可ラス

主刑ハ左ノ年限ニ從テ期滿免除ヲ得(第五十九條)

一死刑ハ卅年 二無期徒刑ハ廿五年 三有期徒刑ハ廿年 四重

懲役重禁獄ハ十五年 五輕懲役輕禁獄ハ十年 六禁錮罰金ハ七年

七拘留科料ハ一年

付加刑ニ關スル期滿免除ノ規定ハ左ノ如シ(第六十條)

付加ノ罰金ハ主刑ト共ニ期滿免除ヲ得

沒收ハ五年ヲ經テ期滿免除ヲ得但禁制物ハ期滿免除ノ限ニアラス

禁制物ノ期滿免除ヲ得サルハ物自体不正品ナルカ爲メ間斷ナク犯法

シツ、アルカ爲メナリ

剝奪公權停止公權及ヒ監視ハ期滿免除ヲ得ス

此種ノ付加刑ニ付キ期滿免除ヲ得ヘキ者ナリト論難シ或ハ期滿免除

ヲ得ヘキ者ニ非スト辨駁スル等其付スル理由モ種々ナリト雖モ予ハ

刑罰刑ノ尊嚴說ヨリ免除ヲ得ヘキ者ニ非スト信スルナリ何トナレハ

此等ハ社會カ迫テ行フノ刑ニ非スソ退テ爲サシメサルノ刑ナリ即チ

積極的刑ナラスソ消極的刑ナリ既ニ消極的刑ナレハ犯人カ實際付加

刑ヲ免カレタリトスルモ其犯人ノ行爲ハ無効ノ行爲ナリ社會ハ其刑

ヲ執行シツ、アル者ナリトノ口實ヲ以テ社會刑罰權ノ弱點ヲ裝飾シ

能ク其体面ヲ維持スルヲ得ヘシ既ニ其体面ヲ維持スルヲ得ルトセバ

止ムヲ得ス設ケタル所ノ期滿免除ヲ得セシムルノ必要ナカルヘキ也



期滿免除ハ右ノ如ク時間ニ關スルモノナレハ起算日ヲ定メサル可ラ  
ス(第六十一條)而シテ我刑法ハ期滿免除ハ刑ノ執行ヲ遁レタル日ヨリ  
起算ス若シ捕ニ就キ再ヒ逃走シタルトキハ其逃走ノ日ヨリ起算シ闕  
席判決ニ係ルトキハ其宣告ノ日ヨリ起算シ罰金科料ハ納完期限ノ經  
過日ヨリ起算シ沒収ハ裁判確定ノ日ヨリ起算シ死刑ハ執行命令アリ  
タル日ヨリ起算ス

又我刑法ハ逮捕令狀ヲ以テ期滿免除ノ中斷トシ(第六十二條)若シ逮捕  
ヲ命シタル時ハ最終ノ令狀ヲ出シタル日ヨリ起算スルモノナリ

#### 第四款 大赦

大赦ハ公益ノ爲メ或犯罪事件ニ對シ國家カ公訴權刑罰權ヲ拋擲スル  
モノナリ是恰モ一私人カ私訴權ヲ拋擲スルト一般ニテ被告カ當然義

務ナキニ至ルモノナリ然レモ私訴ノ棄權ハ公訴ヲ害セサルト同ク大  
赦ハ公訴ニ屬スル關係即チ國家カ被害者トナル部分丈消滅スレモ一  
私人ノ私訴權ハ爲メニ消滅スヘキモノニアラサルナリ  
大赦ハ國家ノ棄權ナリ故ニ此ヲ行フ權ハ主權者タル 天皇ニ屬ス  
ルモノタルヲ明ナリ(憲法第十六條)大赦ハ或事件ニ對シ行フモノナリ  
故ニ其事件ヨリ責ヲ負フ總人數ニ及フヘシ又大赦ハ其事件ヲ犯罪視  
セサルモノナレハ後日罪ヲ犯スモ再犯トナラサルヘク又當然復權ヲ  
得ヘシ又大赦ハ公訴權刑罰權ヲ放棄スルモノナレハ判決ノ前後ヲ不  
問之ヲ行フヲ得ヘシ

#### 第五款 特赦

特赦ハ主權ノ作用ヲ以テ確定判決ヲ受ケタル犯者ノ刑ヲ免除スルヲ



云フ故ニ大赦トハ大ナル差異アリト云ハサル可ラス即チ大赦ハ或事件ヲ犯罪ニ非ストスルモノナルニ依リ其關係者總テ無罪ナレトモ特赦ハ特定ナル一人ノ刑ヲ免スルニ止レハ其所爲タルヤ犯罪ナリ故ニ後日罪ヲ犯スルハ再犯トナルヘク又特定ノ一人免刑セラル、ノミニノ一般ニ及ハス又特赦ニ因テ免罪ヲ得タル者ハ赦狀中記載スルニ非サレハ復權ヲ得ス是刑ヲ免ル、ノミニノ其所爲カ罪タルニ依ル故ナリ又特赦ハ刑ヲ免除スルモノナルカ故ニ判決確定以後ナラサレハ行フヲ得ス

### 第六款 復權

復權ハ一旦剝奪シタル公權ヲ勅裁ヲ以テ將來ニ付與スルヲ云フ(第六十三條第六十五條)

斯ノ如ク復權ハ將來ノ公權ヲ得ルニ過キサレハ以前其公權ノ上ニ成立シアリタル諸權利ハ復權ノ爲メ回復スヘキモノニアラス即チ以前官吏タリ議員タリ學監タリ教師タリ位記アリ勳章アリタリトスルモ此等ハ既往ニ屬シ復活スヘキモノニ非ス只將來再ヒ其種ノ權利ヲ得ヘカリシノミ

我刑法上復權セシムル場合ハ公權ヲ剝奪セラレタル者主刑ノ終リタル日ヨリ五年ヲ經過ノ後其情狀公權ヲ得セシムルモ可ナリト認ムル場合主刑ノ期滿免除ヲ得タル者ハ監視ニ付シタル日ヨリ五年ヲ經過スル後ニ於テ其情狀公權ヲ復サシムルモ可ナリト認ムルノ場合大赦ニテ免罪トナリタル場合特赦ニテ免刑ヲ得其赦狀中復權ヲ特記シアル場合ナリトス

### 刑法新論畢



明治廿七年七月廿六日印刷  
同 年七月廿九日發行

版 權 所 有

定價金壹圓

著 者 秋田縣南秋田郡面瀨村浦大町 北 嶋 傳 四

發 行 者 秋田縣南秋田郡面瀨村浦大町 北 島 又 五 郎

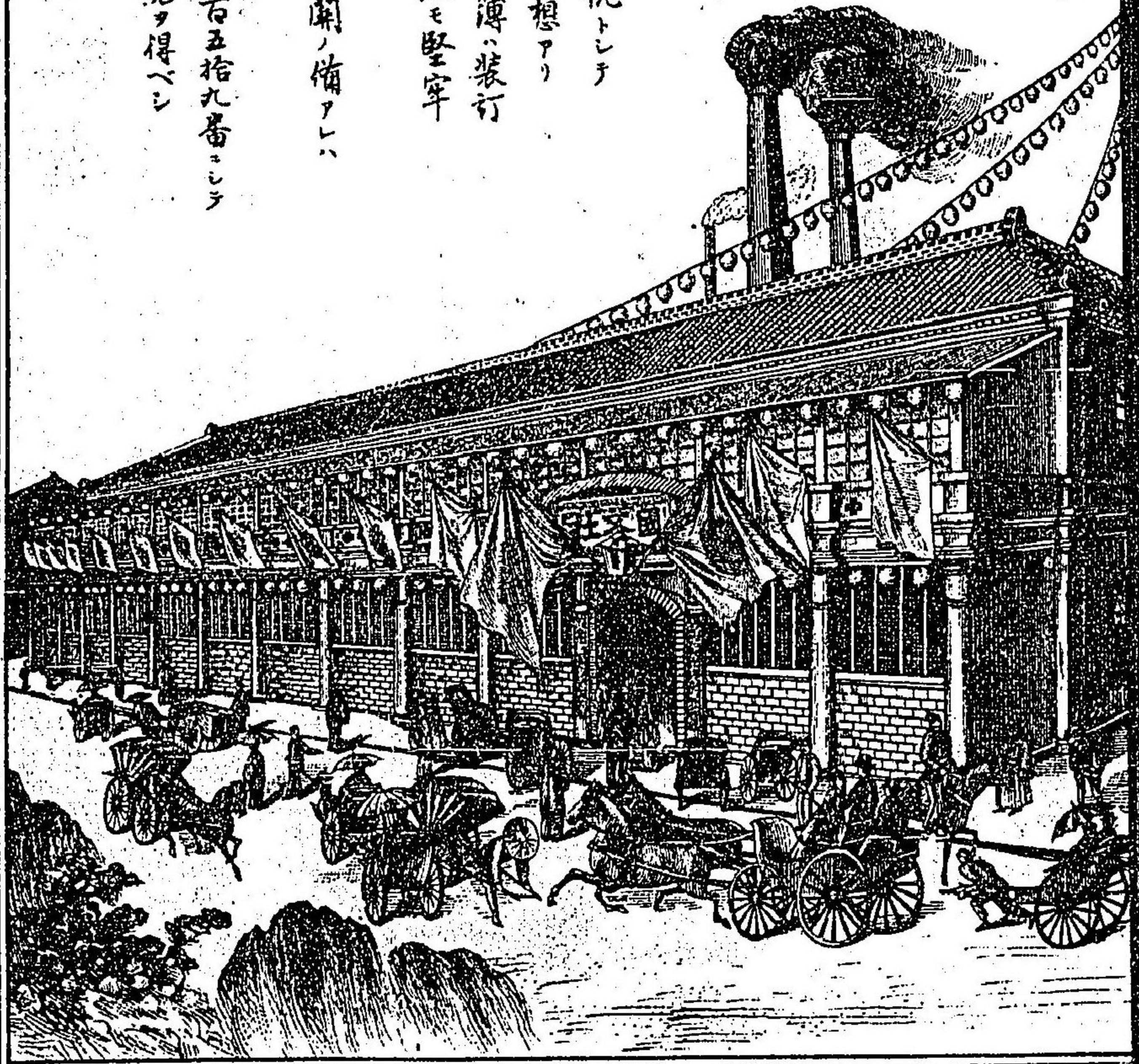
印 刷 者 東京市芝區南佐久間町三丁目十七番地 久 米 川 治 三 郎

印 刷 所 東京市京橋區宗十郎町十五番地 國 文 社



# 東京國文社

- 國文社ノ活版印刷ハ鮮明中ノ鮮明ナリ
- 國文社ハ活字鑄造ノ老舗ニシテ府縣ノ購客絡繹斷ヘズ
- 國文社ノ石版ハ恍トシテ眞景活画ヲ觀ルノ想アリ
- 國文社ノ書籍帳簿ハ装订甚タ美觀ニシテ然モ堅牢無比ナリ
- 國文社ハ蒸氣機關ノ備アレハ印刷頗迅速ナリ
- 國文社ノ電話ハ貳百五拾九番ニシテ至急ノ御需ニ應ズルヲ得ヘシ



發行所

國

文

社

東京市京橋區宗十郎町十五番地

東京市日本橋區本町三丁目八番地

博

文

館

大賣捌所

大

倉

書

店

東京市日本橋區通壹丁目拾九番地



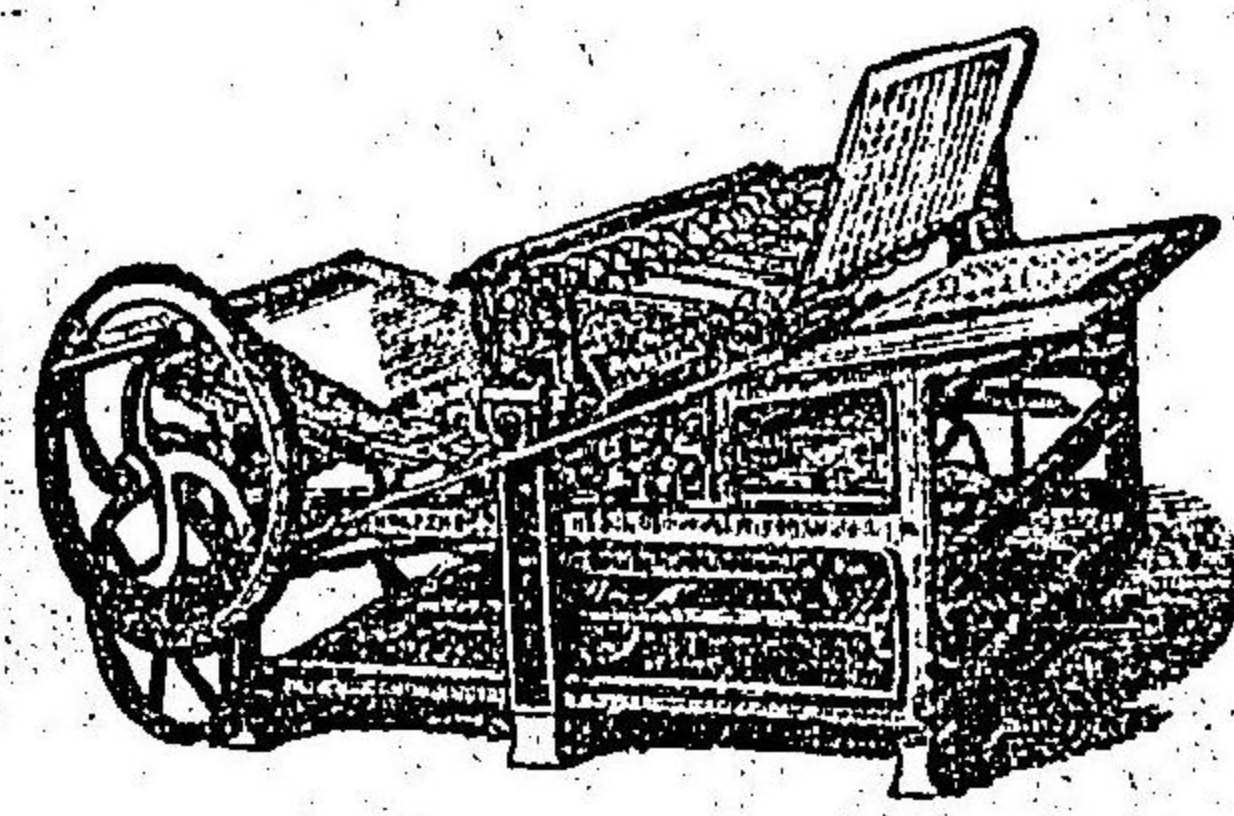
213P29

# 國文社廣告

弊社石版は明治六年の創業にして美術技師伊國人スモリック氏を雇聘し既に當時石版大王の名稱を得爾來日進月歩の勢を以て遂に今日の隆盛を來たり東京府市價券を初の諸銀行諸會社の株券諸手形領收證及び商標等を調製し江湖の喝采を博したるは喋々を要せざるなり

活版は明治三年の創業にして未だ他類なき鋼鐵彫刻の字母なるが故に鮮麗堅緻なる事世界に冠たりと云ふも誇言にあらずあり而して印刷の最近發明の最上印刷器を蒸氣機關の運轉されば如何なる大數大部のものも此と雖も約束期日に調製可仕候又活字販賣の多少に不拘御需用に應じ申候尤も一時は多數御注文は大割引仕候其他總て低廉に且迅速を旨とし調製可仕候間一層の御愛顧あらんことを希ふ

- |         |         |
|---------|---------|
| 和漢洋活版印刷 | 活字鑄造販賣  |
| 石版彫刻印刷  | 電氣版製造   |
| 銅版彫刻印刷  | 紙型鉛版製造  |
| 木版彫刻印刷  | トレンヌ輪廓類 |
| 諸帳簿裝釘   | 畫格罫引類   |
| 和洋書籍裝釘  | 金銀箔凸版   |



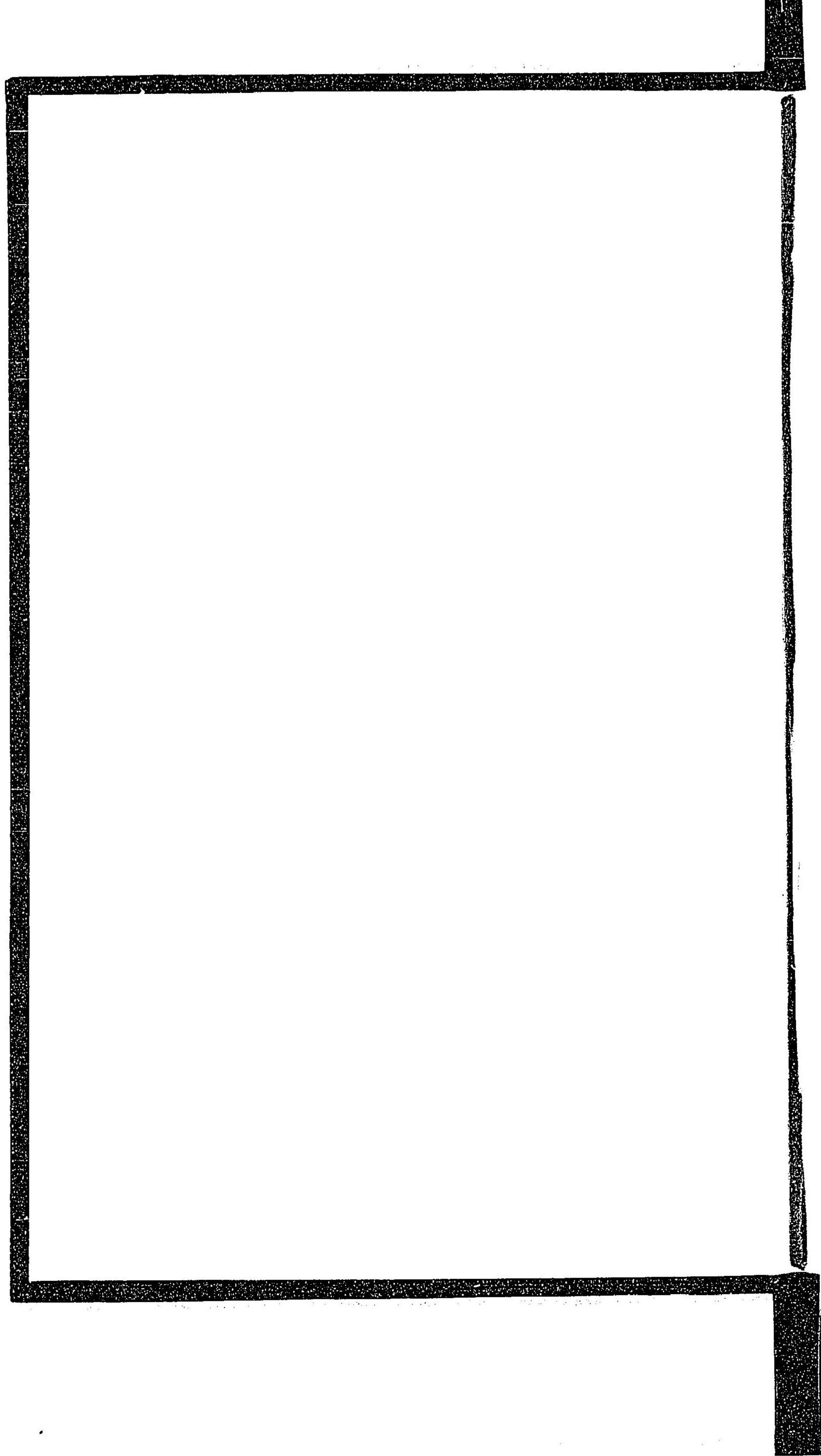
東京市京橋區宗十郎町拾五番地

宮内省御用達

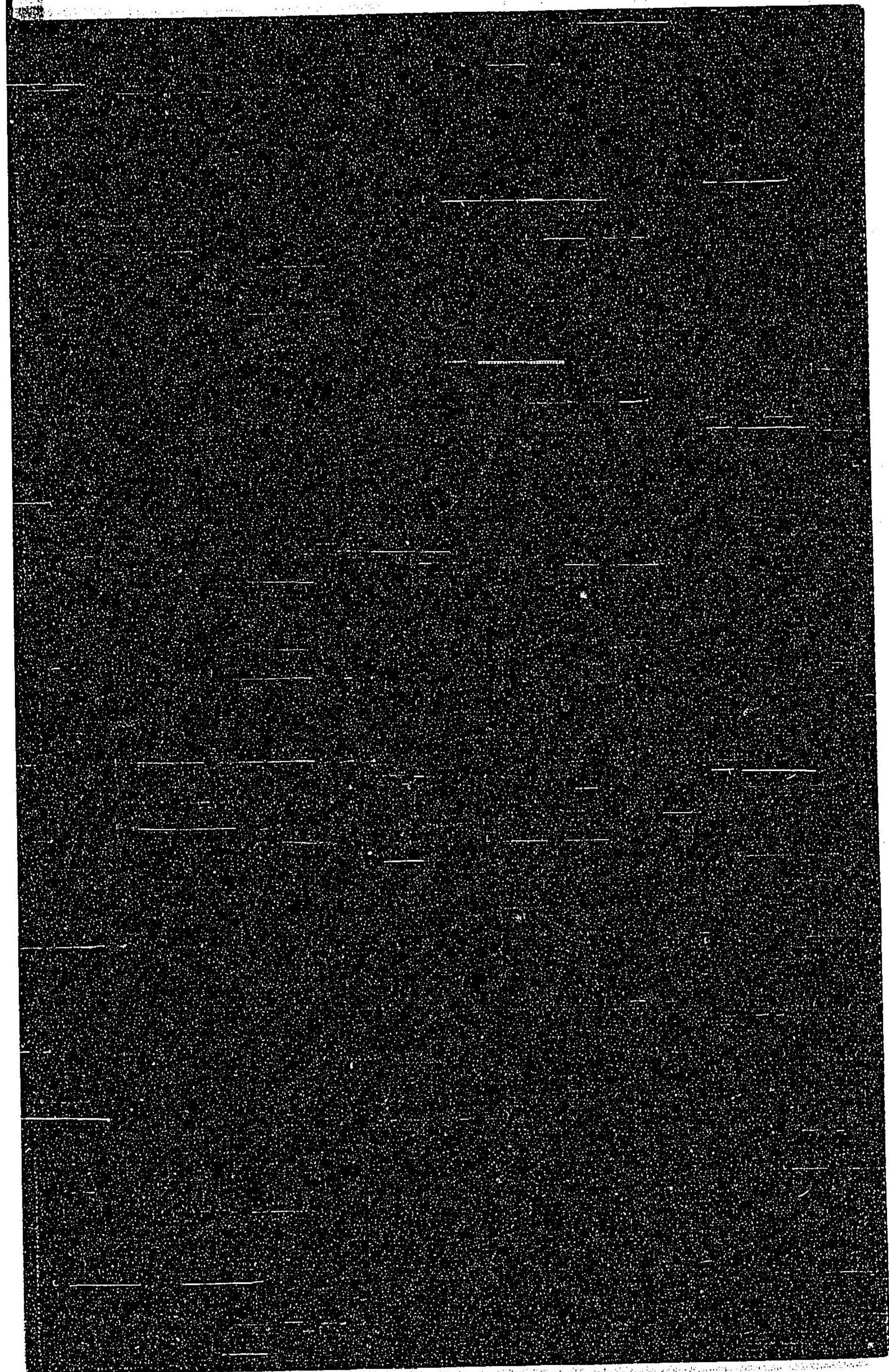
國文社  
電話二百五十九番

社主 玉置源太郎











44  
279

035743-000-8

44-279

刑法新論

北嶋 伝四郎/著

M27

BBP-0325





